

# 迎春



新年明けましておめでとうございます。  
皆様にはよいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年は、多くの小学校から森林教室にご参加いただきました。子供たちは、高尾山の木や草花などの香りを感じ取り、丸太切りなどの体験を通じて森林・林業への理解を深めていただけたと思います。今年も当センター職員一同、ボランティア団体など多くの皆様のご協力を得ながら、安全で楽しく学べる森林教室をはじめ、各種イベントやクラフト体験などを実施してまいります。

本年もよろしくお願いたします。

令和5年元旦 高尾森林ふれあい推進センター所長 久保 武典

高尾山頂より富士山を望む

巻頭

Photo

## 高尾山のいきものたち

### ニホンノウサギ

(ウサギ科)

小さい顔に丸い目と立った耳。体長は50cm程で、褐色の毛で被われるが、積雪地帯では冬は白くなる。平野から亜高山の草原や森林などに棲み、夜行性で昼間は藪や木の根元で休み、夜はねぐらを中心に活動する。天敵は、キツネやイタチ類、猛禽類などで、防衛手段として、感度のよい長い耳で敵の存在をキャッチし、長い足と強い筋力により瞬足で逃げることができる。

食性は、植物食で、草や木の葉や若枝などを食べる。概ね一年中繁殖を行い、乱婚制で、年3~5回、1~4頭を産み、新生子は8~10ヶ月で繁殖できるようになる。ノウサギは、肉食動物にとって重要な餌だが、この効率のよい繁殖で、ある程度捕食されても、しっかり命をつないでいる。

(森林インストラクター 藤原 裕二)



## 森林教室

### 私立相模女子大学小学部

11月17日(木)、私立相模女子大学小学部の4年生78名が森林教室に訪れました。

午前中は6班に分かれての森林散策です。高尾山の森林、樹木、草本、林業などについて、実際に見たり触れたりしながら職員の解説を聞きます。晩秋の時期で花はほとんど見られないのですが、真っ白な花弁とたくさんの黄色い雄しべが美しいチャノキの花が咲いていました。実もたくさん付いていて、割ってみると中に丸い種が3個、三角形に並んでいます。「これを見て何か思い出さない？」との問いかけに、しばし考えてから「そうか、お茶畑の地図記号だ！そうだったのか」と感嘆の声。他にもたくさんの驚きや気づきがあり、最後は全員から「楽しかった！」との声をもらいました。

青空の下でのお昼ご飯の後は、管理棟の中での森林学習と丸太切り体験です。丸太を切るのは初めての児童が多いので最初は随分とぎこちなかったのですが、二枚目になるとだいぶコツをつかんできた様子。それでもなかなか切り進むことができない児童もいて、当日OJTで参加していた東京神奈川森林管理署の若手職員から丁寧な手ほどきを受けていました。

閉校式では「高尾山にはいろいろな特徴を持つ植物があることがわかって良かった」「丸太切りは難しかったけれどとても楽しかった」などの感想が聞かれました。これからも機会を作って自然の中に遊びに来てくださいね！(枝)



## 森林教室

### 八王子市立 秋葉台小学校

11月25日(金)、八王子市立秋葉台小学校5年生98名が、わくわくビレッジ(八王子市にある宿泊施設)の体育館を借りて森林学習と丸太切り体験を行いました。

いろいろなプログラムを予定しているようで、森林教室自体の実施はおよそ2時間しかありません。しかし、渋滞のため予定より1時間遅れて施設に到着した児童たちは、長い移動時間ですでに疲れきっている様子でした。

それでも頑張って森林学習を意欲的に取り組みました。今回は時間がないので地球温暖化関連の動画は無しで駆け足の学習になりましたが、知らないことも多かったようで感心していました。

丸太切り体験では1人一枚で時間切れとなりました。大変悔しがっていましたが、お土産の輪切りが手に入って喜んでいました。(岩)



## 公募イベント つるかご編み

11月26日（土）に公募イベント「つるかご編み」を開催しました。毎年開催する公募イベントの中でもトップクラスの人気を誇るイベントですが、今年も抽選で選ばれた参加者が笑顔で当センターを訪れました。

林業関係者にとって「つる」は特に厄介者ですが、「つるかご」を編む上では貴重な材料となります。今回参加された方の中には、つるかご編みのノウハウのある方、初めての方の両方が参加されていましたが、経験者は素早く上手に作成し、未経験者に丁寧に教えている姿が印象的でした。

閉会式に先立ち「鑑賞会」を実施しましたが、どの作品を取っても個性豊かなオーラを放つ「つるかご」に、一同暫し釘付けとなって無事に閉会となりました。  
（磯）



## 森林教室

### 中野区立 中野本郷小学校

11月29日（火）、中野区立本郷小学校5年生50名を高尾山日影沢園地に向かえて森林教室を行いました。当日は、時折雨がばらつき何時本降りになるか心配されるような中での開催となりました。

午前中は、6班に分かれて森林観察を実施しました。当日はそれほど肌寒くなく林内では雨も気にならないほどで、途中の小川で沢ガニを見つけると子供たちから歓声が上がっていました。その後も人工林や天然林の違い、針葉樹や広葉樹の林相の違いなどの説明に聞き入り、ジャノヒゲの実のスーパーボールに熱中していました。

午後は、森林学習と丸太切りを2グループに分かれて交互に実施しました。森林学習は、管理棟の中で森林の役割や林業についてのお話し、丸太切りは、キャンプ場の広場でスタッフの指導を受けながら皆楽しそうに切っていました。心配された天気も本降りになること無くなんとか持ちこたえ、慌ただしい中でも楽しい森林教室となりました。（瀬）



# 森林教室

## 東村山市立 南台小学校

12月1日(木)に東村山市立南台小学校5年生60名の森林教室を行いました。

児童代表の「待ちに待った森林教室です。感謝の気持ちを忘れずに今日は楽しみましょう」との挨拶でスケジュールどおりに始まった森林教室、午前中は6班に分かれての森林観察です。案内するスタッフの話を聞きながら、葉っぱの匂いをかいだり、ひっつき虫を服にいっぱい付けたりしながら観察を楽しんでいました。特に、湧き水を目を見ると、「これが緑のダムか。川の始まりだ」とうなずく児童もいて、実際に見ることで納得した様子でした。また、急な山道を恐がる児童がいる一方、楽しい楽しいと言いながらはしゃぐ児童もあり、観察終了時にはもう少し歩きたいと言い出す児童もいました。

午後は、2班に分かれて森林学習と丸太切りを交互に行いました。丸太切りはやや太めの丸太だったため1枚切り落とすのに苦労していましたが、ガンバレガンバレとの声援を受けながら腰を伸ばしたり手をぶらぶらと振ったりしながら全員が2枚を切り、大事そうにリュックにしまっていました。

当日は、朝から今にも降り出しそうな空模様でしたが、どうにか雨にも降られず無事に終了し、児童たちは「ありがとうございました」と手を振りながら、そして、最後尾につかれた校長先生は、「また、来年も来ます」との言葉を残され、キャンプ場を後にされました。(谷)



## 公募イベント リース作り

12月3日(土)に公募イベント「リース作り」を開催しました。今年度は自粛緩和の影響で森林教室の申し込みが秋冬に殺到したため、急遽12月の実施となりました。おそらく高尾山の紅葉狩りの最終週とも相まって、早朝から高尾山口の駅前にはさながら青山通りのような賑わいを見せていました。

今回は親子参加型のイベントとして企画したので約半数の参加者が親子連れとなりました。先週実施された公募イベント「つるかご編み」の「つる」を利用して作った輪を「ベース」に思い思いのまま、木の実等をグルーガンでデコレーションしていくと、市販のものとは比べものにならないオーラを発していました。今年もクリスマスには参加者のお家の玄関に、温もりタップリのリースが輝きを放つことでしょう。

(磯)



## 森林教室

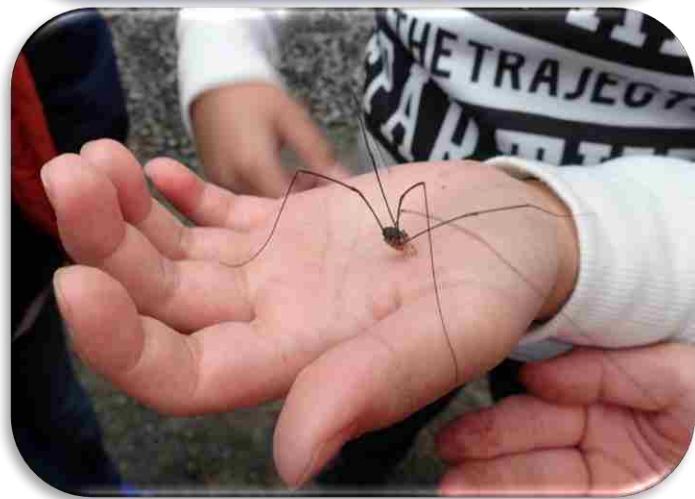
### あきる野市立 草花小学校

12月6日(火)と8日(木)の2日に渡って、あきる野市立草花小学校の5年生112名が森林教室に訪れました。人数が多いため2回に分けての受入れです。

日影沢はその名のとおり、特に冬の期間はいつそう日照時間が少なくなり非常に寒いエリアですが、みなしっかりと防寒対策をして森林観察に出発して行きました。前日までの雨で坂道が滑りやすくなっていましたが、ボランティアで参加しているFSS(フォレストサポートスタッフ)の手も借りながら無事通過。森林や動植物の観察だけではなく、山の中の坂道を歩くことも児童にとっては貴重な体験のようです。

途中の小沢で森の働き「緑のダム」を感じてもらった後、サワガニ探しをしました。ほとんどの児童が初体験だったようですが、見つけた小さなサワガニを「わぁ〜かわいい」と手のひらに乗せる児童、「無理、無理」と言って触らない児童など、様々な反応がありました。蜂の誘引捕殺器の説明では、春に捕獲したオオスズメバチの女王蜂の実物標本を見せると、進んで手に取って「よく見るとかわいい顔してる」と言う児童も。続いて現れたザトウムシも手に乗せて「本当だ! 釜爺そっくり」と喜ぶ児童もいました。

午後の森林学習と丸太切り体験が終わり、「今日一日、いろいろな体験ができてとても楽しかった」「また来たいです」との嬉しい声を残して帰路につきました。毒のある虫、かぶれる植物もあるけれど、それらに気をつけながら、できるだけ実際に手に取って触れてみてもらいたいものですね!(枝)



## 森林教室

### 品川区立 戸越小学校

12月15日(木)、品川区立戸越小学校5年生56名を高尾山日影沢園地に向かえて森林教室を実施しました。当日は、今年一番となる寒波が列島を包み、ドラム缶の半割焚き火台で時折暖を取りながらの森林教室となりました。

午前中は、6班に分かれての森林観察です。林内に入ると一段と寒く感じましたが、途中の小川で夏とは違い、それほど冷たくは感じない沢水に手を浸けながら沢ガニ探しに夢中になっていました。その後も緑のダムとしての森林の働きの説明に真剣な眼差しで聞き入り、越冬中のアサギマダラの幼虫の説明にはビックリした顔つきで聞いていたのが印象的でした。

午後は、森林学習と丸太切りを2グループに分かれて交互に実施しました。森林学習は、管理棟の中で森林の役割や林業についてのお話し、丸太切りは、キャンプ場の広場でスタッフの指導を受けながら皆楽しそうに切っていました。

管理棟の中ではストーブで、屋外では半割ドラム缶の焚き火で暖を取りながらの森林教室となりましたが、今年最後の森林教室を無事に終えることができました。

(瀬)





## 公募イベント 炭焼き・火起こし体験

高尾山麓にも本格的な冬がやってきた12月17日(土)に公募イベント「炭焼き・火起こし体験」を実施しました。当日は雨が心配される曇天となりました。

午前中は事前に職員が実施した炭焼(伏せ焼き)の窯開け作業から始まりました。今シーズン初の窯開け作業とあって、多少の不安も入り交じる中の窯開けでしたが、無事に焼けた竹炭を取り出すことができました。そして、いよいよ参加者による炭焼体験の実施です。竹材を窯に詰め込み土をかぶせた後、火入れを行いました。およそ30分程度口火を扇いで熱風を窯に送り込みます。そして竹材に火が入ると黄褐色で密度の濃い煙が勢いよく噴き出しました。参加者もびっくりした様子で「おお〜!」と歓声が上がりました。

午後は火起こし体験と花炭を実施しました。特に火起こし体験では、摩擦熱のみでの着火に皆さん一様に驚いた様子で、ほぼ全員が体験することができました。そして無事閉会となり、お土産の竹炭と花炭を皆さん大事そうに抱えて帰路につきました。(磯)



### 編集後記

2023年、新しい年が始まりました。

今年も高尾センター職員一同一丸となって、森ともっともっと触れ合いたい、もっといろんなことを知りたいと思っている方々をサポートしていきます。



フクジュソウ

### Forest通信 NO.407

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先  
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail: ks\_takao\_postmaster@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>



国土の緑化・森林づくり